

長野都市圏の 人の動き

第3回 長野都市圏
パーソントリップ調査結果より
平成29年10月

Contents

- 01 はじめにPage 01
- 02 長野都市圏とは?Page 02
- 03 パーソントリップ調査とは?Page 04
- 04 長野都市圏の人の動きは?Page 05
- 05 長野都市圏の観光は?Page 14
- 06 調査結果の活用方法は?Page 15



01 はじめに

長野都市圏総合都市交通計画は、長野市を中心とする長野都市圏の今後のまちづくりや交通計画を示した計画として、平成3年度に第1回目の計画を、平成16年度に第2回目の計画に策定されました。

しかしながら、第2回目の計画策定から10年以上が経過し、また平成27年の北陸新幹線の開通や少子高齢化社会の進展にともない、交通環境の変化や求められる交通サービスなどの変化に対応するため、既存の計画を見直す必要が生じています。

そこで、平成28年に第3回長野都市圏パーソントリップ調査（人の動きに関する交通実態調査）を実施しました。今回、調査の結果がまとまりましたので概要をご紹介します。

今後、調査結果を分析し、得られる課題を解決するための、「新たな長野都市圏総合都市交通計画」を策定する予定です。

調査対象者の方々や、関係機関各位にご協力いただきましたことを厚くお礼申し上げます。

長野都市圏総合都市交通計画協議会
（長野県、長野市、須坂市、中野市、飯山市、
千曲市、小布施町、信濃町、飯綱町）

これまでの検討の流れはコチラ

●長野都市圏総合都市交通計画は、下記の流れで進められています。

平成
27
年度

長野都市圏について、統計データを用いて現状分析や課題抽出を行いました。
また、調査項目や調査方法等を立案し、長野市を対象に予備調査を実施し、その結果を受けて、次年度の本調査の効率化を検討しました。

平成
28
年度

前年度の予備調査の反省点を踏まえ、第3回長野都市圏パーソントリップ調査（人の動きに関する交通実態調査）を実施しました。また、来街者や公共交通利用者、観光客を対象とした意識調査もあわせて実施しました。
得られた結果から、人の動きや利用者等の意向など交通実態の分析を実施しました。

平成
29
年度

前年度に得られた交通実態の分析結果を活用し、求められる長野都市圏の将来の姿や予測される将来の交通状況を検討します。
また、計画を実現するための課題や解決策を検討するとともに、実現に向けた推進体制を検討し、総合的な交通計画を策定する予定です。

02 長野都市圏とは？

対象範囲は、5市3町です。

- 長野都市圏の対象範囲※は、長野市を中心とする5市3町（長野市・須坂市・中野市・飯山市・千曲市・小布施町・信濃町・飯綱町）です。



図 長野都市圏の対象範囲



長野県PRキャラクター「アルクマ」©長野県アルクマ



対象範囲はどうやって決まっているの？

長野市への通勤・通学依存率が5%以上かつ各市町村以外の第1位通勤・通学先が長野市となっている市町村のうち、幹線道路や鉄道で長野市と連絡されているなどの条件を満たす市町村を基本としました。

高齢化社会がますます進展します。

●平成 27 年時点の高齢化率 (老年人口 (65 歳以上) の人口割合) は 29.6% ですが、平成 47 年には年少人口・生産年齢人口が減少し、高齢化率は 36.4% になる見込みです。

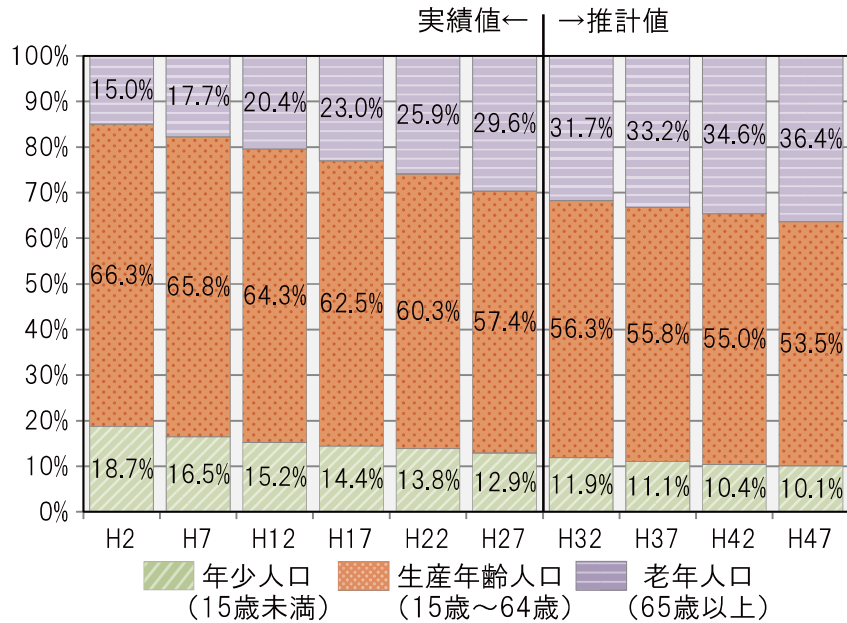


図 長野都市圏全体の将来人口の推移

長野都市圏の市街地は広がっています。

●都市的地域を示す指標である人口集中地区※は、昭和 45 年から約 40 年後の平成 22 年までに、鉄道駅から離れるように拡大しており、通勤や買い物の移動に自動車が必要となってきています。

人口集中地区 (DID) って?

「都市的地域」を示す国勢調査で設定された地区のことです。人口密度の高い地区 (人口密度が 4,000 人 / km² 以上) が隣接していて、その人口が 5,000 人以上となる地域が設定されています。

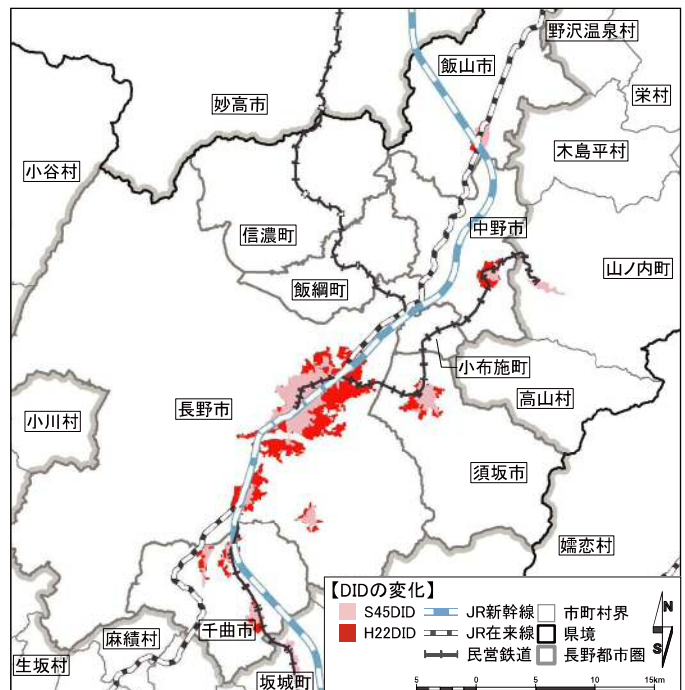


図 人口集中地区 (DID) の変化

03 パーソントリップ調査とは?

パーソントリップ調査は、人の1日の動きを調べる調査です。

- パーソントリップ調査は、『どのような人が』・『どのような目的で』・『どこからどこへ』・『どのような交通手段で』移動したかなど、日頃の生活のなかでの「みなさま（パーソン）」の「1日の動き（トリップ）」を調べるものです。



調査の目的

皆様が日頃の生活の中で、自動車、バス、鉄道などを利用してどのように移動しているか、アンケート方式でお尋ねし、将来のまちづくりや交通計画などに広く役立てることを目的としています。

調査の実施期間

調査は、平成 28 年 10 月～ 12 月にかけて実施しました。

調査の対象

長野都市圏（長野市・須坂市・中野市・飯山市・千曲市・小布施町・信濃町・飯綱町）にお住まいの約24万世帯の中から、住民基本台帳より無作為に選ばれた、約 49,000 世帯の方を対象に調査票を配布しました。

その他の調査

パーソントリップ調査の対象世帯のうち、付帯調査として、約 8,100 世帯を対象に『交通と暮らしに関する意識調査』を、65歳以上の方を含む約13,000世帯を対象に『65歳以上の方の意識調査』をあわせて実施しました。

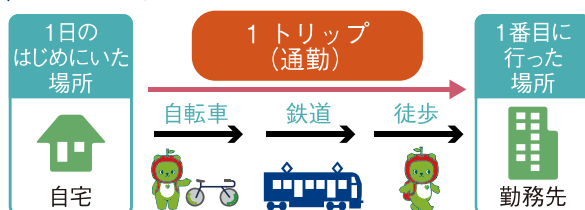
また、パーソントリップ調査のほかに補完調査として、長野都市圏を訪れる来街者を対象とした『来街者の交通行動調査』を、在来線や路線バス利用者を対象とした『公共交通利用者調査』を、長野都市圏の観光地の来訪者を対象とした『観光客の交通行動調査』などの意識調査を実施しました。

トリップとは?1日の動きって?

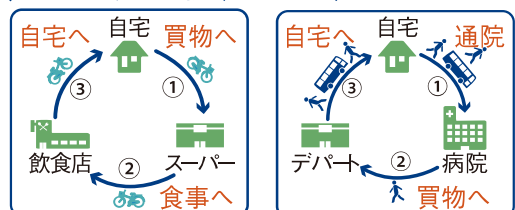
人がある目的を持って「ある地点」から「ある地点」に移動した場合の1回の動きを『トリップ』といいます。移動の目的が変わるごとに「1トリップ」と数えます。例えば、目的が「通勤」で自宅から勤務先へ行った場合に「1トリップ」になり、目的が「帰宅」で勤務先から自宅へ帰った場合も「1トリップ」になります。

また、『1日の動き』は、午前3時から翌3時までの24時間のすべての動きを指し、いくつかの目的による複数のトリップからなるのが一般的です。

◆トリップの例



◆1日の動きの例(3トリップ)



04 長野都市圏の人の動きは？

都市圏では、1日に127万トリップの動きがあります。

●平日1日の人の移動の総数（総トリップ数）は、前回調査から約1割減少しました。

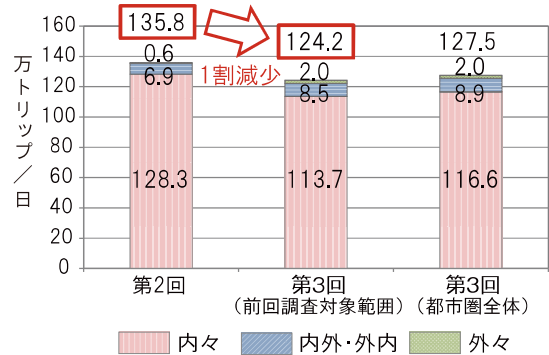


図 発生集中量の経年変化

- 長野市内での移動は、72.7万トリップで都市圏全体の57.0%を占めています。
- また、長野市と都市圏内の他の市町間の移動は、全体の約10%となっています。

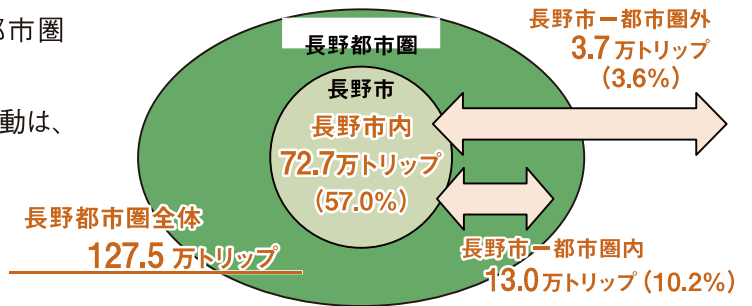


図 長野市と他都市の結びつき

65歳以上の方の外出率は、高まりました。

- 調査日に外出した方の割合は、79.8%で、平成13年度に実施した前回調査（82.0%）と比べ、わずかに低くなりました。
- また、年齢別にみると、60歳未満の方の外出率は前回と比べ低下しました。
- 一方で、65歳以上の方の外出率は高まっており、活動的な方が増えていることがわかります。

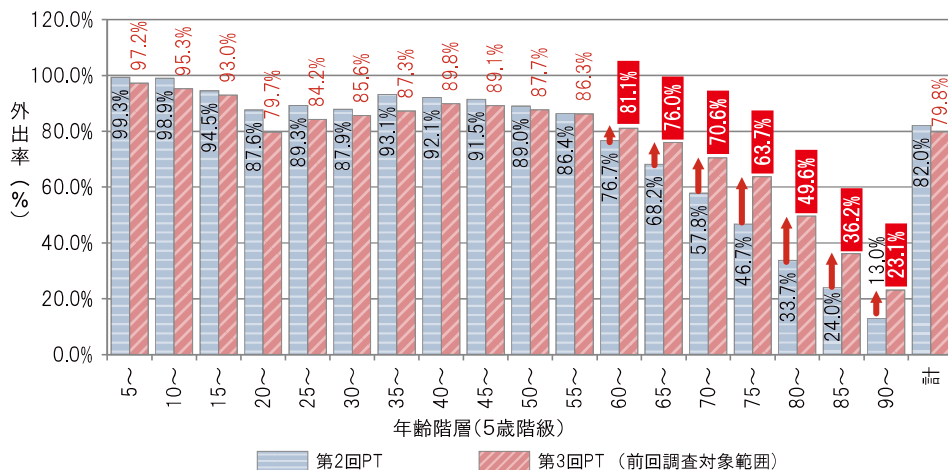


図 年齢別の外出率

自動車利用の割合は増加しています。

- 調査日に「自動車」で外出した方の割合は69.3%で、第2回調査結果（65.6%）と比べ、増えました。
- 一方で、「徒歩や自転車」で外出した方は減っており、「バスや鉄道」などの公共交通で外出した方は合わせて全体の約6%と低い状況です。

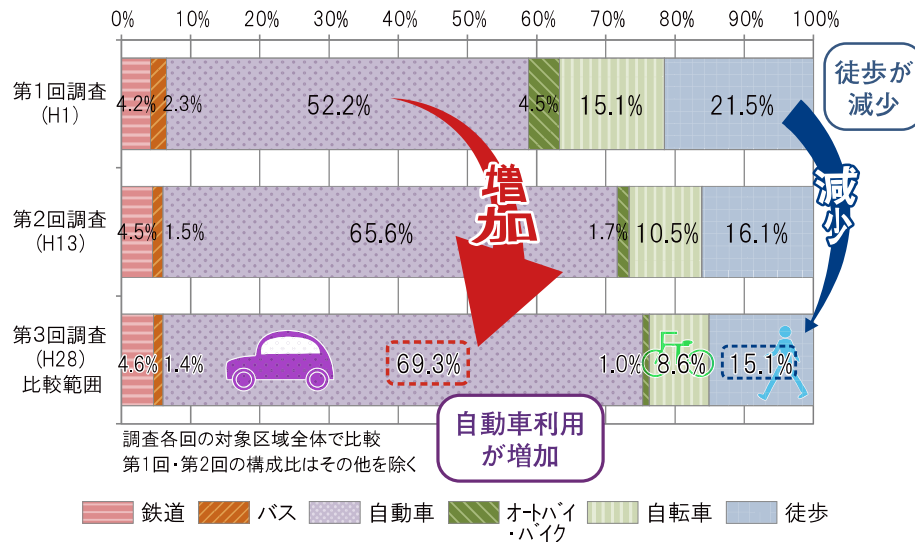


図 長野市と他都市の結びつき

他都市と同様に、自動車利用の割合は高くなっています。

- 代表交通手段※について、長野都市圏と同様にパーソントリップ調査を実施している他都市圏と比べると、「鉄道」の利用は比較的高いです。
- ただし、「自動車」の利用は、他都市圏と同様に高い状況です。

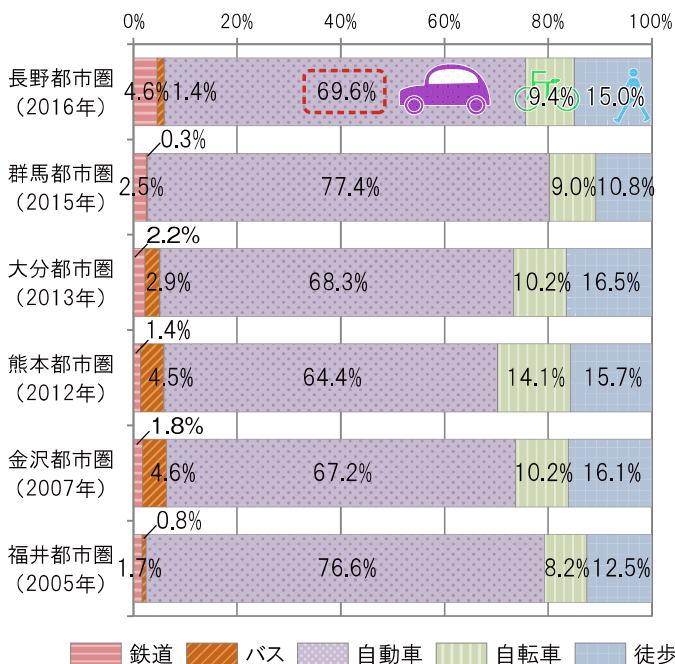


図 代表交通手段※の他都市圏の比較経年変化



代表交通手段って？

1つのトリップの中でいくつかの交通手段を利用している場合、そのトリップの中で利用した主な交通手段を『代表交通手段』といいます。

主な交通手段の集計上の優先順位は、「鉄道」→「バス」→「自動車」→「二輪車」→「徒歩」の順に設定していて、優先順位の高い交通手段が代表交通手段となります。

65歳以上の方の自動車利用の割合は、送迎も含め高まりました。

- 年齢別の代表交通手段をみると、65歳以上の方の「自動車」利用が増加しています。
- 特に80歳以上では、送迎で「自動車」利用する方が増えています。

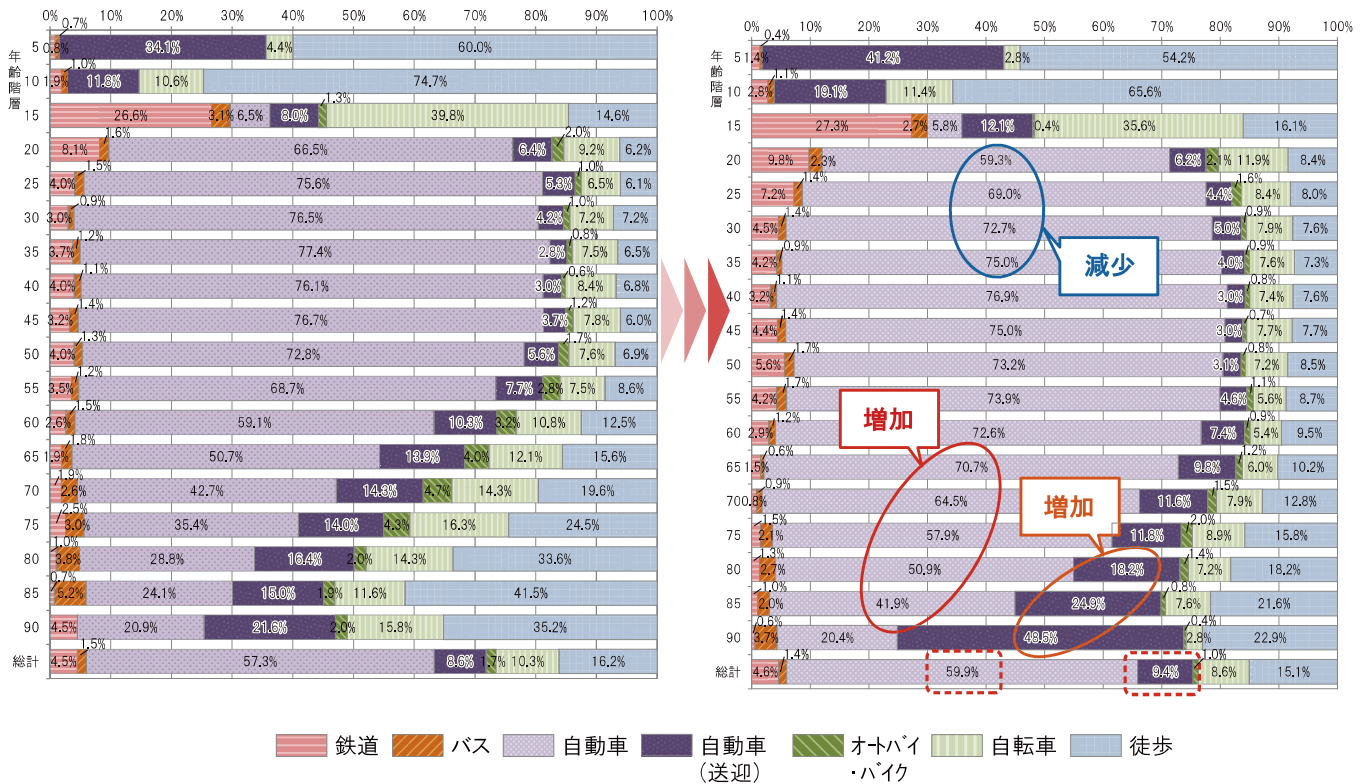


図 年齢階層別の代表交通手段 (左図：第2回、右図：第3回)

短距離でも自動車は、よく使われています。

- 距離帯別の交通手段をみると、短距離であっても「自動車」利用の割合が高いことが特徴的です。
- また、「バス」利用は2～5kmの移動で3.1%を占めています。

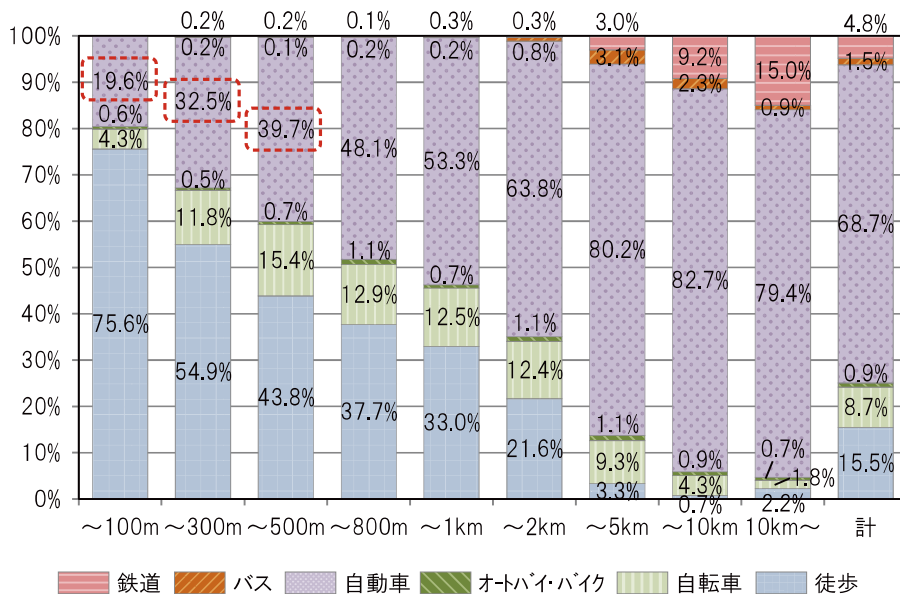


図 距離帯別の代表交通手段

買物や通院等の私事目的の移動の割合が多くなりました。

●調査日に外出した方の目的は、「私事」、「通勤」、「業務」、「通学」の順となっており、「私事目的」の増加と「業務目的」の減少が特徴的でした。

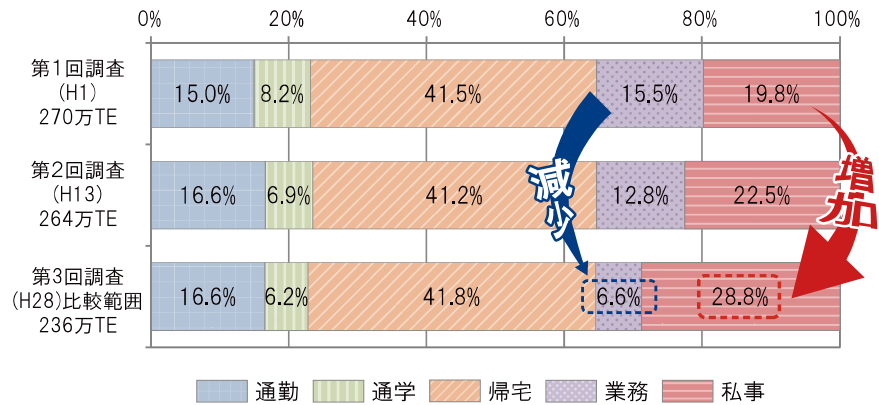


図 トリップの目的構成の経年変化

私事目的の自動車利用の割合が増えています。

- 目的別の代表交通手段別構成比をみると、「業務目的」以外は増加しています。
- 中でも、「私事目的」における「自動車」利用が大きく増加しています。

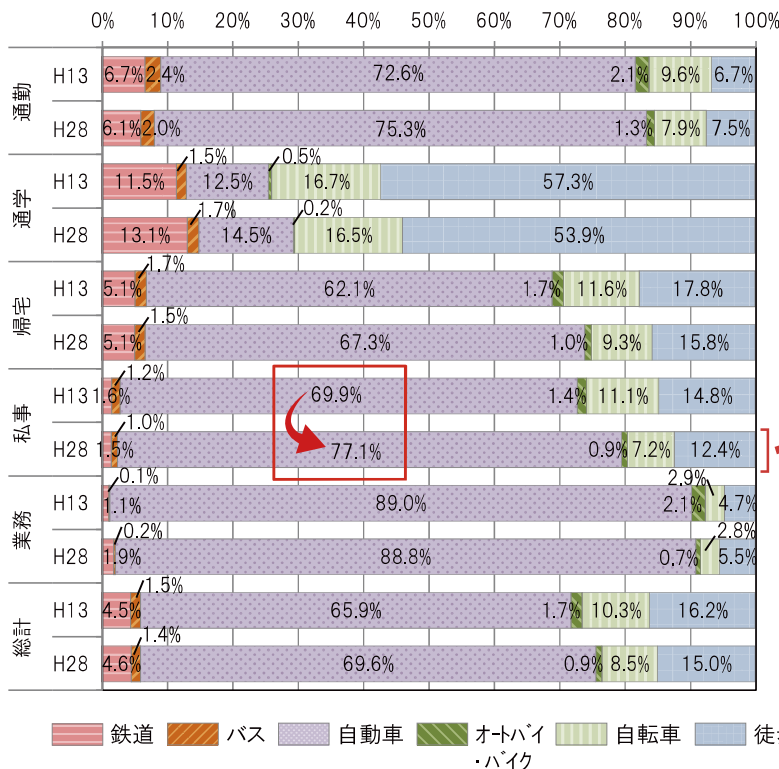


図 目的別手段別構成比の経年変化

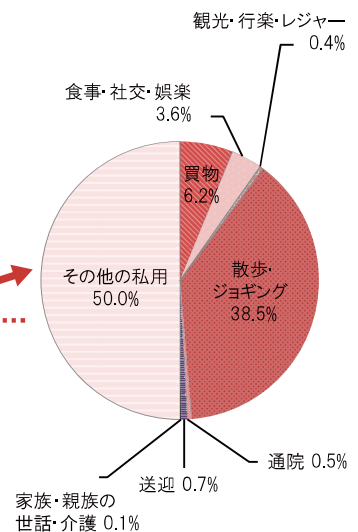


図 私事目的の内訳(H28)

長野市を中心とした人の動きが多いです。

- 市町間の人動きをみると、長野市を中心とした動きとなっています。
- 長野市～千曲市間の流動が最も大きく、次いで長野市～須坂市間、長野市～中野市間となっています。

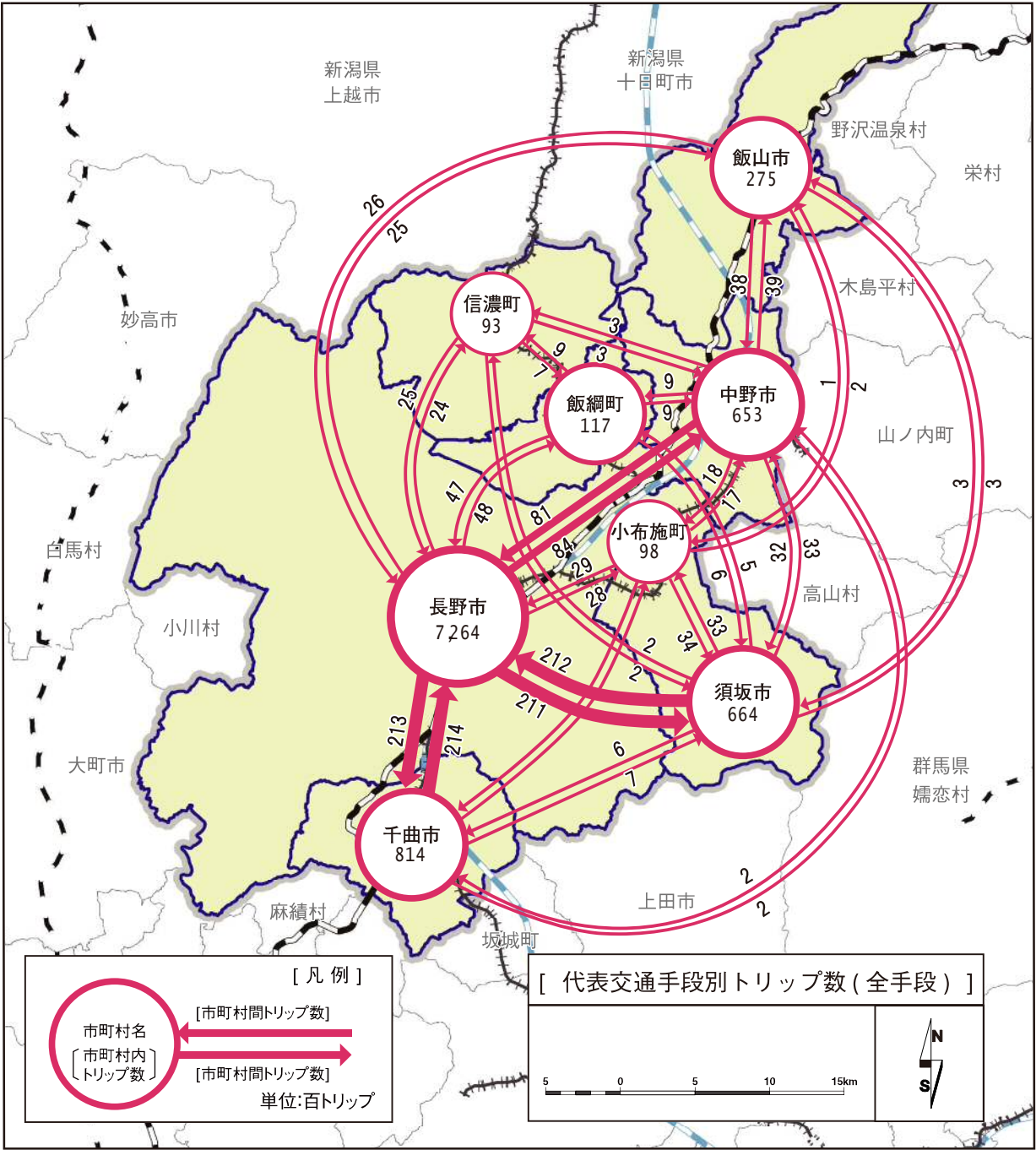


図 都市圏内の流動（全目的・全手段：百トリップ）

自動車からの手段転換は、難しいとの回答が多くなっています。

- 自動車利用が、「ほぼ毎日」・「週4～5日」の方は、公共交通など他の交通手段へ「替えることは難しい」と68.8%が回答しています。
- 一方、「替えることができる」との回答も4.3%得られました。

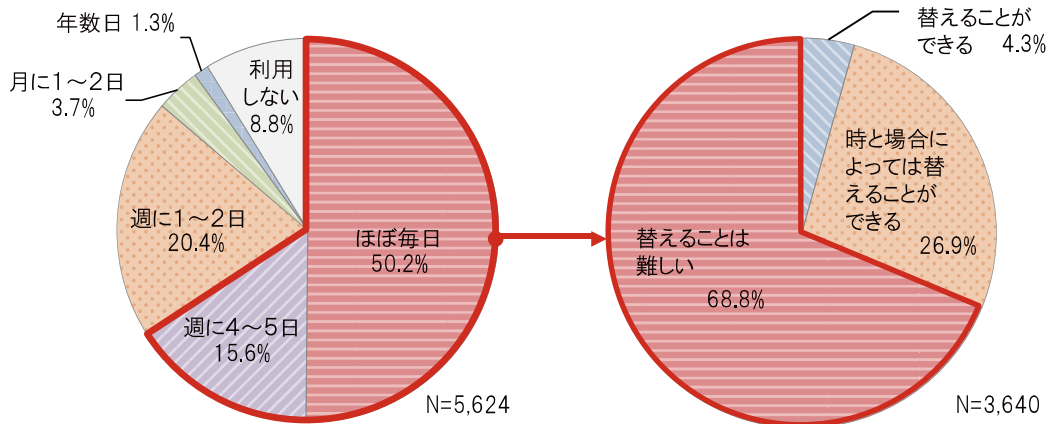


図 自動車利用頻度

図 公共交通への手段転換の可能性

季節に関わらず、交通手段に大きな変化はありません。

- 本調査の他に、来街者調査および公共交通利用者アンケート調査を秋季（11月）と冬季（1月）の2回行いました。
- 冬季に外出する際の主な交通手段は、「変わらない（季節に関わらず同じ）」とする回答が80.1%を占めています。
- 冬季の交通手段が「変わる」または「状況に応じて変化する」方が、どのような交通手段へ変わるかでは、「バス」、「徒歩」、「鉄道」のほか、「自家用車の送迎（自分で運転しない）」などが多く挙げられています。

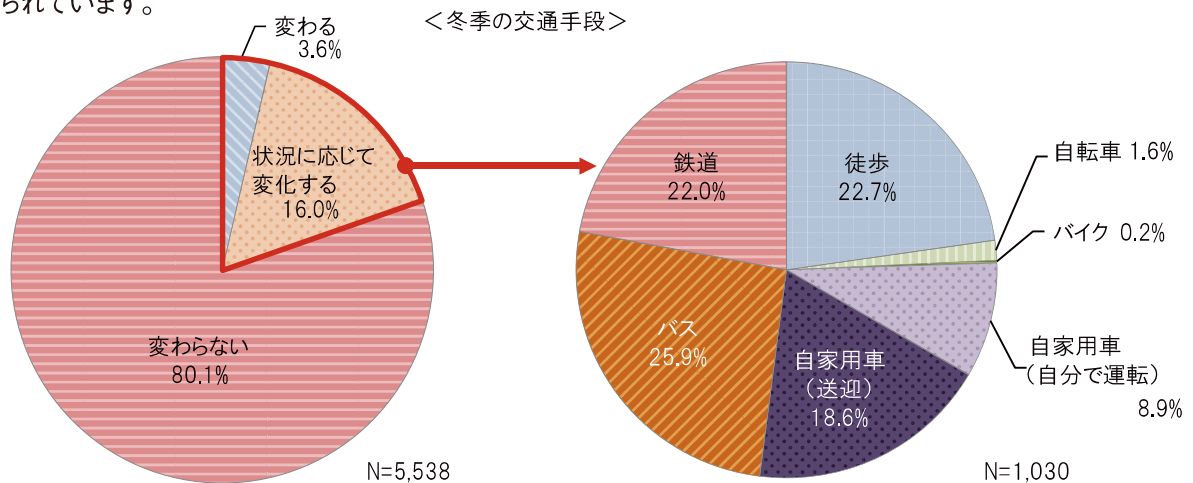


図 冬季の交通手段の変化

図 冬季の交通手段を変化する場合の交通手段

通院や買物でも、65歳以上の方の自動車利用が多いです。

●65歳以上の方の通院や買物の状況を見ると、お住まい近くの病院やスーパーであっても、自動車での移動が多い状況です。(付帯調査 65歳以上の方の意識調査)

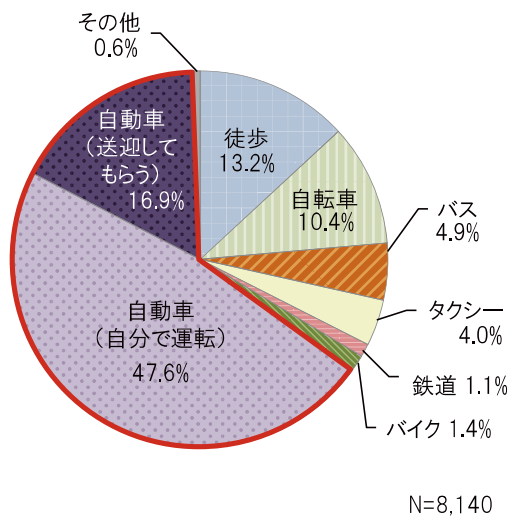


図 通院先への交通手段

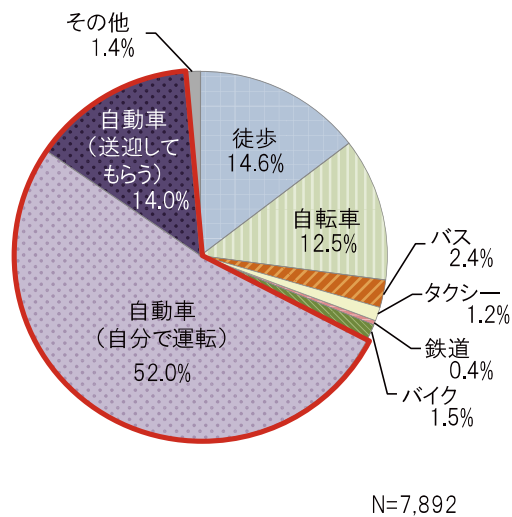


図 買物の交通手段

65歳以上の方は、将来の移動に不安を抱えています。

●高齢者の方の今後への不安は、「自分で動くのがつらくなった時の助け」「いくつまで自分で運転できるか」という意見が多くを占めています。(付帯調査 65歳以上の方の意識調査)

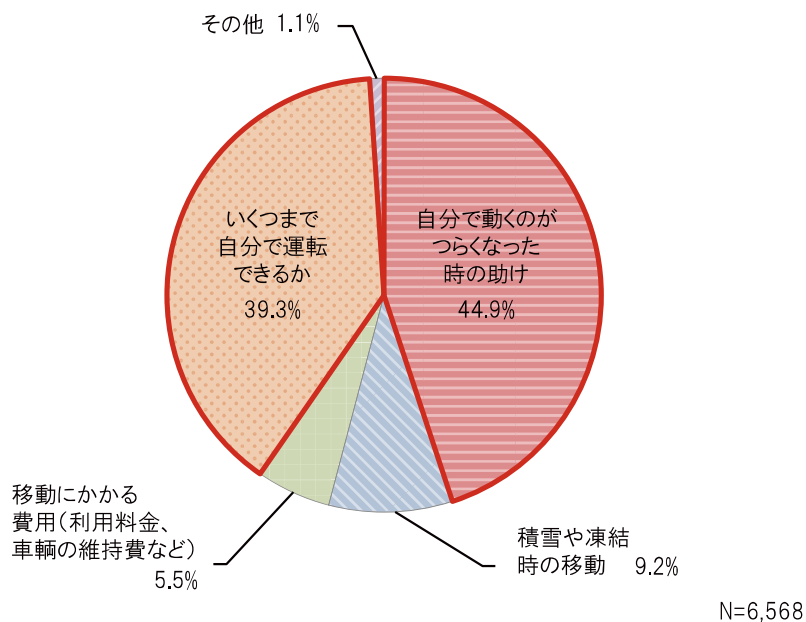
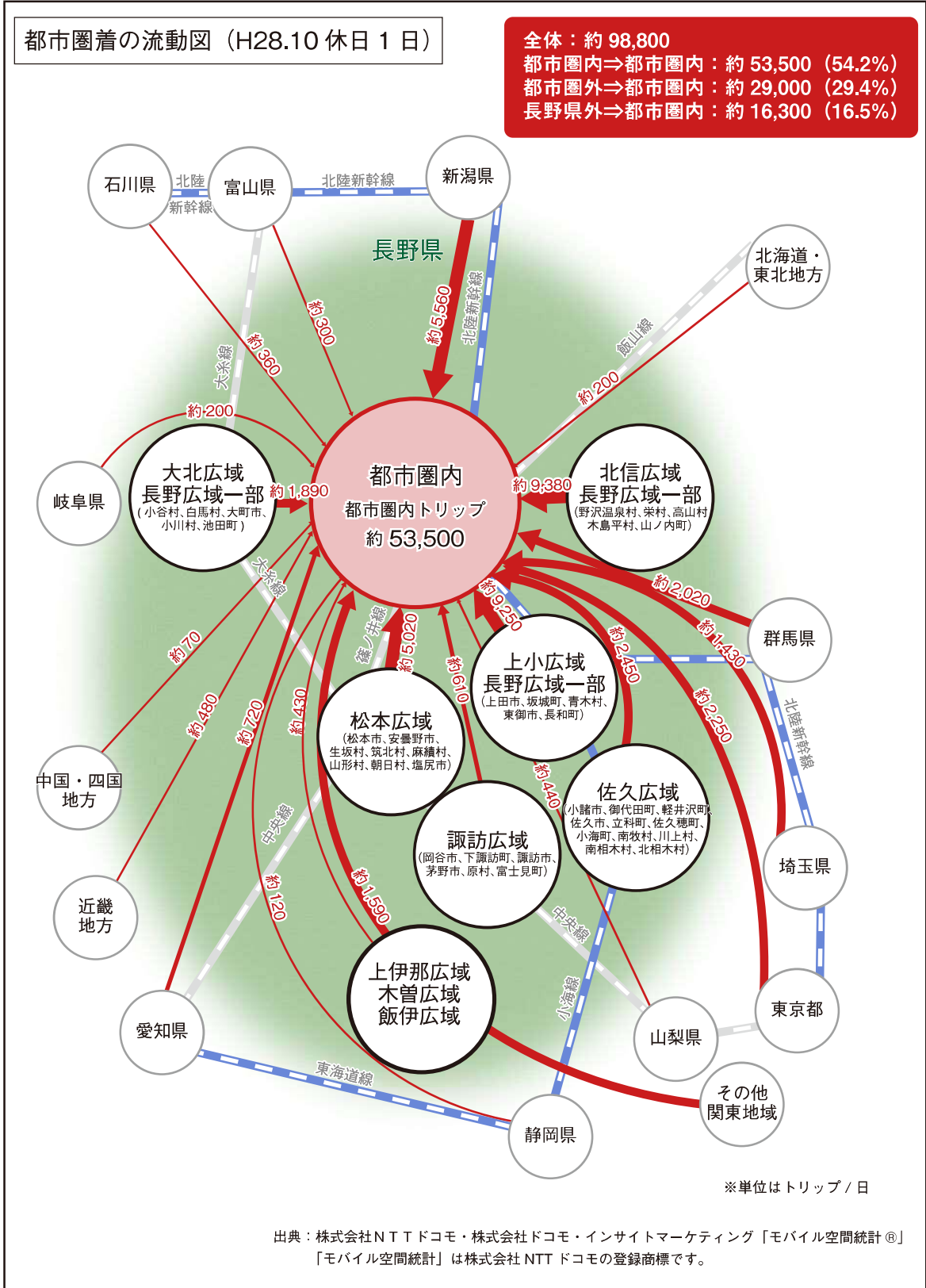


図 今後の交通で不安を感じる事項

全国各地から都市圏に訪れています。

●携帯電話のローミングデータ(位置情報)から休日の都市圏着の流動をみると、県内からは北信広域(野沢温泉村など)・上小広域(上田市など)、県外からは新潟県、東京・埼玉県・群馬県などの首都圏からの流入が上位を占めています。



公共交通は、通勤目的で毎日のように利用されています。

- 長野駅を発着する在来線・路線バスの利用者は、「通勤目的」が半数以上を占めています。
 - また、利用者の多くは「ほぼ毎日」・「週に3～5回」と高頻度で利用しています。
- (付帯調査 交通と暮らしに関する意識調査)

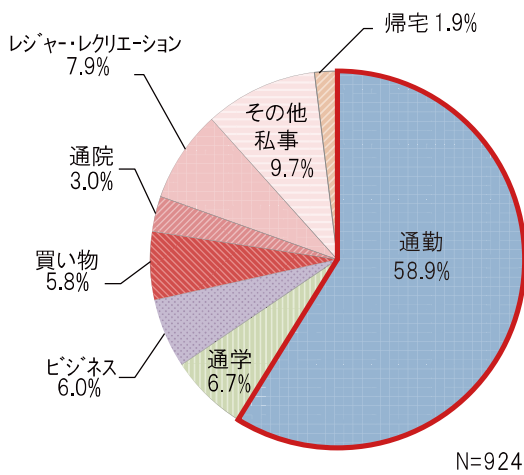


図 公共交通の利用目的

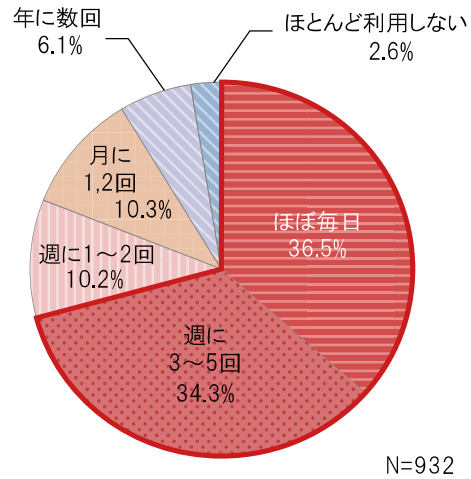


図 公共交通の利用頻度

在来線・路線バス利用者ともに、運行頻度の増加要望が最も多いことがわかりました。

- 長野駅を発着する在来線・路線バスの利用者の半数近くが、「運行頻度を高める」ことを公共交通に求めるサービスと感じています。(補完調査 観光客の交通行動調査)

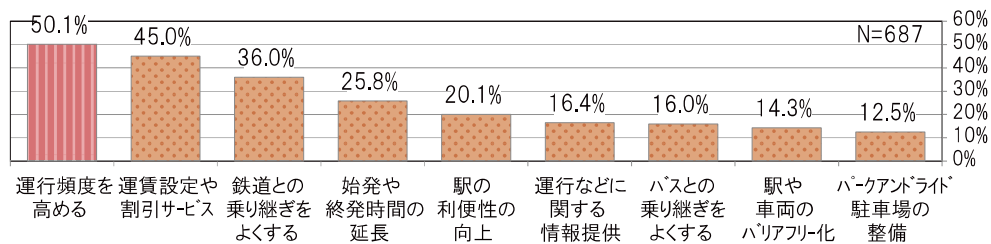


図 在来線利用者が求めるサービス

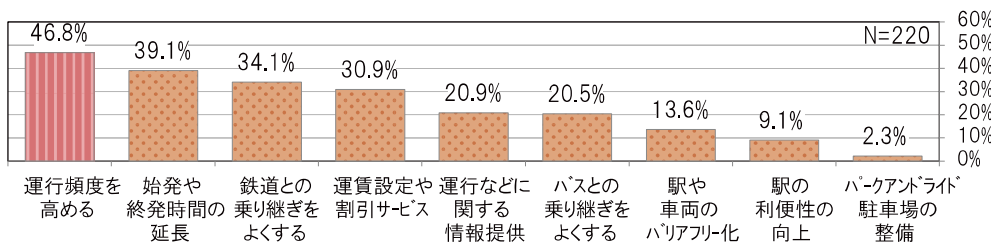


図 路線バス利用者が求めるサービス

05 長野都市圏の観光は？

他県からの観光客が多く、自動車利用も多くなっています。

- 長野都市圏の観光地※を訪れた方の実態は、長野県外からの来訪が約7割近くとなっています。
- また、主な交通手段については、7割以上の方が自家用車で訪れています。

(補完調査 観光客の交通行動調査)

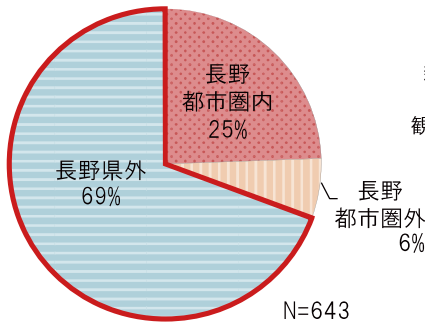


図 観光客の居住地

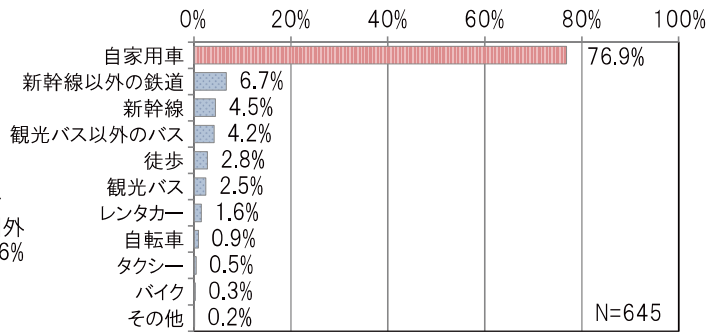


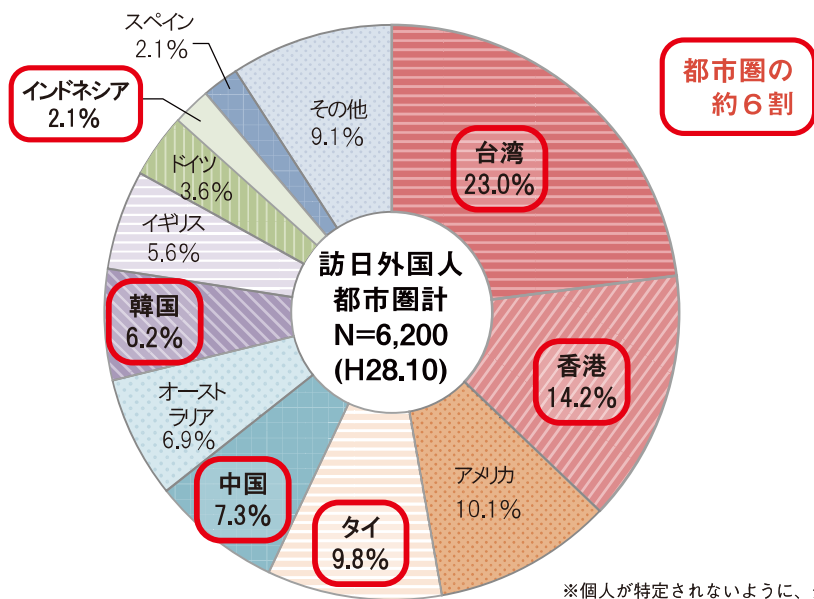
図 観光までの主な交通手段

調査の場所は？対象者は？

平成28年8月のある1日に、長野都市圏の7か所の観光地（善光寺、飯綱高原、戸隠高原、臥龍公園、斑尾高原、戸倉上山田温泉、北斎館）を訪れた方を対象に調査を行いました。

アジア圏の方々が多く訪れています。

- 携帯電話のローミングデータ（位置情報）から、訪日外国人の国別実態を確認しました。
- 特にアジア圏の方々が多く訪れており、都市圏の約6割を占めています。



※個人が特定されないように、少数エリアの数値を取り除く処理をしています。

出典：株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計」
「モバイル空間統計」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

図 訪日外国人の国籍（平成28年10月）



06 調査結果の活用方法は？

新たな長野都市圏総合交通計画を策定してまいります。

このパンフレットでは、平成 28 年度のパーソントリップ調査で得られた長野都市圏の人の動きに関するデータ（以下、現況データ）の主な分析内容をご紹介します。

現況データを用いて、人の動きを多面的に分析したり、過去からの変化を分析することで、本都市圏の交通に関する問題点や課題を把握したり、将来の交通施策の効果等を検討することが可能です。このような分析を進めていくことで、本都市圏の総合的な都市交通計画の策定検討を進めていきます。

現況データは、本都市圏内の市町や関連機関の諸計画（交通施設計画・事業、都市計画マスタープランなど）の策定や、研究機関等での研究の基礎データとして、また施設計画の交通面での影響等の検討の参考データとするなど多面的な活用が可能です。

データ使用に関しては、下記の長野都市圏総合都市交通計画協議会の各構成団体にお問い合わせください。

■ お問い合わせは、下記のいずれかをお願いします。

長野県

建設部 都市・まちづくり課
TEL: 026-235-7297
FAX: 026-252-7315

長野市

都市整備部 都市政策課
TEL:026-224-5050
FAX:026-224-5111

須坂市

まちづくり推進部まちづくり課
TEL: 026-248-9007
FAX: 026-248-9040

中野市

建設水道部 都市計画課
TEL:0269-22-2111
FAX:0269-22-5925

飯山市

建設水道部 まちづくり課
TEL:0269-62-3111
FAX:0269-62-6221

千曲市

建設部 都市計画課
TEL:026-273-1111
FAX:026-273-1921

小布施町

建設水道課
TEL:026-247-3111
FAX:026-247-3113

信濃町

建設水道課
TEL:026-255-5922
FAX:026-255-4470

飯綱町

建設水道課
TEL:026-253-4766
FAX:026-253-6869